

令和7年度 学校経営計画書

石川県立ろう学校
学校長 東 寿彦

1 学校教育目標

すすんで学び、挑戦する、たくましく心豊かな人間の育成

- ◇ 知識を磨き、正しく理解し、創造する人間の育成
- ◇ 人を思いやり、互いに協力できる心豊かな人間の育成
- ◇ すすんで社会に参加し、自立する人間の育成

2 中長期目標

(1) 本校の現状と課題

① 県内唯一の聴覚障害教育の学校として

聴覚に障害のある幼児児童生徒の将来の自立と社会参加に向け、一人一人のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を提供し、能力を最大限に引き出すための教育活動の推進に努めている。

② 準ずる教育と専門性

幼児児童生徒の実態に合わせて指導計画を作成し「学習上または生活上の困難を改善克服するための指導」と「幼稚園、小学校、中学校、高等学校の目標」の達成を目指して専門性、授業力の向上に努めている。

③ 一貫教育

幼稚部から高等部までの学部間の連携により、キャリア教育の推進、言語能力の向上、社会性の育成等が系統的・効果的に推進されるよう努めている。

④ センター的機能

聴覚障害教育のセンター的機能としての役割を果たすため、「きこえの相談支援センター」の円滑な運営、充実を図ると共に、進路指導を含む他校等の多様なニーズに対応できるよう個々の教員が専門性の維持・向上の研修、及び外部関係機関との連携に努めている。

(2) 幼児児童生徒に関する中・長期目標

① 日本語による主体的な言語活動の定着

学部（年齢）ごとに適した言語活動への支援等を系統的に計画し、確かな日本語力を身につけ、日本語で考える力を育む。

② コミュニケーション能力の向上

音声、文字、手話、指文字等多様なコミュニケーションモードを活用し、自分の考えや気持ちを伝える力、相手の気持ちや考えを理解する力を育てる。

③ 学力の向上

主体的に学習に取り組む態度を養い、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、考え表現する力を育てる。

④ 自立と社会参加にむけて

自己肯定感を高め、共生社会の一員としての規範意識を高め、将来の自立と社会参加に向けて必要な力を育てる。

⑤ 健康の保持・増進

発達段階に応じた体験活動や運動を通して、健康な心と身体を育てる。

(3) 教職員が目指す教育活動

① 聴覚障害教育への熱意と使命感を持ち、人権意識を高め学校課題に対して組織的・効率的に取り組む。

② 幼児児童生徒一人一人の理解を深め、個々のニーズに応じた具体的目標を設定し粘り強い指導を実践する。

③ 積極的な研修への参加と授業改善に努め、専門性・授業力の向上を目指す。

④ 保護者や地域、外部機関との連携・協働を図り、信頼される学校を目指す。

3 重点目標

(1) 教科指導の充実と専門性の向上と継承

積極的に研修や研究授業指導案検討に参加することで、聴覚障害教育の専門性の向上を目指すと共に、現行学習指導要領の理念に基いた教科指導力や言語活動の指導力向上を図る。

(2) 共生社会の実現に向けたキャリア教育の推進

本校の幼児児童生徒の発達を促すとともに、本校以外の幼児児童生徒に対しても社会参加・自立を促すためにセンター的機能の充実を図る。

(3) 健康で豊かな心が育つ安心・安全な学校づくり

防災への備えを高めるとともに、スマホ等の携帯端末の適切な使用に係る指導を行うことで、健康で豊かな心を育み社会参加への態度向上を図る。

(4) 働きやすい学校づくり

マニュアルを活用し、業務の平準化を図り効率的な分掌業務体制を構築することで、ワークライフバランスの向上を図る。